

令和 2 年度 第 10 回丸亀城石垣崩落対策本部会議録

1 開催日時 令和 3 年 2 月 1 日（月）午前 1 0 時 4 0 分～午前 1 0 時 5 0 分

2 開催場所 本館 2 階第 3 会議室

3 議 事

(1)石垣復旧事業 市民説明会・現場見学会（報告）

- ・令和 3 年 1 月 1 0 日（日）に開催し、定員 7 5 名のところ 7 2 名の参加があった。
見学ルートを 3 つに分け、延寿閣別館で石垣復旧事業の概要説明、石垣崩落のメカニズムの説明をした後、現場に移動して現場見学を行い、最後に石垣復旧 PR 館で丸亀城の歴史を説明した。
- ・1 月 2 4 日（日）の四国新聞に見学会の記事が掲載され、参加者の「復旧の機会に巡り合わないと思えない貴重な現場」という感想があり、喜ばれたと思う。
- ・現場見学会開催にあたり、安全な見学ルートの設定、昇降階段を設置するなど、手間はかかったが、やってよかったと思っている。
- ・アンケート結果について、参加者 7 2 名のうち 5 1 名から提出があった。延寿閣での説明について、「よくわかった」「まあまあわかった」を合わせると 100%となり、わかりやすい説明を心掛けた成果だと思っている。
- ・現場説明について、「よくわかった」が 70%を超えており、復旧現場を目の当たりにして満足度が高かったのではないかと推測している。「わかりにくかった」という回答について、風が強く聞こえにくかったようなので、今後の改善点としたい。
- ・復旧に望むことについて、「しっかり調査して二度と崩れないように」「安全性を優先し現代的手法も用いる」という意見が多かった一方、「少しでも早く」の回答が一番少なく、それほど急がずとも、しっかり復旧してもらいたいという意見の表れだと認識している。
- ・新型コロナウイルス感染防止のため、質疑応答を質問カード記入に変更して受け付けた。南西角の崩落現場以外の石垣についての質問が一番多く寄せられ、計画的に調査、整備していくと回答することとしている。質問の内容と回答は市のホームページに掲載し、PR 館でも閲覧できるようにする。
- ・今回、初めて復旧現場に入り現場見学会を開催したが、昨年 7 月の第 1 回市民説明会と比べると批判的な意見は無く、情報発信をこまめに行うことで市民の共感が得られていると感じた。継続して情報発信に努め、市民説明会、現場見学会についても、コロナ禍であるが、できる限り開催したいと考えている。

4 出席状況

(1) 本部構成者（第3条）

職	氏 名	出欠
市 長	梶 正 治	○
副 市 長	徳 田 善 紀	○
教 育 長	金 丸 眞 明	○
モーターボート 競走事業管理者	大 林 諭	○
市 長 公 室 長	横 田 拓 也	○
総 務 部 長	栗 山 佳 子	○
健康福祉部長	宮 本 克 之	○
市民生活部長	小 山 隆 史	○
都市整備部長	吉 本 博 之	○
産業文化部長	山 地 幸 夫	○
ボートレース 事 業 局 次 長	矢 野 浩 三	○
教 育 部 長	石 井 克 範	○
消 防 長	田 中 道 久	○
議会事務局長	渡 辺 研 介	○

(2) 関係職員

市長公室職員課長	井 上 孝 敏
市長公室秘書政策課長	窪 田 徹 也
市長公室秘書政策副課長	谷 本 智 子
市長公室秘書政策課政策推進担当長	宇 野 大志郎
市長公室秘書政策課主任	大 川 智
総務部財政課長	宮 西 浩 二

(3) 事務局

教育部文化財保存活用課長	七 座 武 史
教育部文化財保存活用課丸亀城管理室長	上 甲 育 司
教育部文化財保存活用課丸亀城管理室	真 鍋 和 江